

新幹線プレス

2019年2月20日 No.416

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

ベア6,000円・定昇6,000円獲得！ 格差ベアを許さず、定昇経年減額に反対！ 第24回定期地本委員会開催

2月17日、新幹線地本は五反田文化センターにおいて第24回定期地本委員会を開催し、当面する春闘を中心とした取り組みに向けての意思統一を行いました。

議長には東京車両所分会の長浜委員を選出し、議事が進められました。

冒頭の挨拶に立った杉澤委員長からは、

「連合が統一したベアを放棄し、春闘の統一要求・統一闘争の放棄を打ち出し春闘の終焉の道筋をつけたといわれている。なんとしてもこの現状を打ち破るために闘わなければならない。本人の同意なき一方的な休日出勤反対の闘いは、臨大でスト権を確立しなかったが、会社は休日出勤を解除している。スト権確立の議論を通じて勝ち取った成果を確認して、さらに職場での闘いを強化する。さらに、改憲のための国民投票にNOを突きつけるために、職場から地域からあらゆる仲間と連帯して闘うことが急務な課題だ。」との提起を受けました。



続いて来賓の本部本橋書記長、JR総連淵上執行委員、地本OB会尾崎会長よりそれぞれ激励と連帯の挨拶をいただきました。

質疑では、一方的休日出勤反対の闘いと現状、そして年休裁判・都労委の闘いを中心に委員全員からの発言を受け、伊藤書記長より「闘ってきた故の成果を確認し、これから佳境に入る裁判闘争のバネにしよう」との総括答弁で締め括られ、当面する活動方針を満場一致で確立し、委員会を終了しました。



JR東海に働く全ての労働者の労働条件向上のために2019春闘を闘おう！